

Iwami Art Museum

平成19  
[2007]  
年度

# 年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2007 - March 2008

## 目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	12
コレクション展	13
その他の展覧会	20
教育普及活動	21
ボランティア	24
連携事業	25
所蔵作品一覧	26
所蔵作品貸出実績	40
入館者数一覧・パスポート会員数一覧	41
収支概要	42
島根県芸術文化センター条例	43
島根県立石見美術館管理規則	48
施設概要	51
運営組織体制	54
利用案内	55

## 活動方針・活動内容

### 島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域にはぐまれてきた文化を大切にしながら、地域とともに新しい芸術文化を育むとともに、その創造をめざします。

### 活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

### 島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

### 島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

## 展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	美しさへの挑戦 ヘアモード・メイクアップの300年	平成19年 2月24日～4月9日
	展示室D	森 英恵 手で創る 東京ーパリー島根	平成19年 4月20日～6月11日
	展示室D	ボックスアートープラモデルパッケージ原画と戦後の日本文化ー	平成19年 8月10日～10月8日
	展示室C・D	川村記念美術館所蔵 巨匠と出会う名画展	平成19年 10月19日～12月16日
	展示室C・D	モダンガールズあらわる。昭和初期の美人画展	平成20年 2月29日～4月7日
特別展	展示室D	美術館で初詣	平成20年 1月2日～2月18日
コレクション展	展示室A	水辺の風景	平成19年 4月11日～7月23日
		洋画家たちの海外留学	平成19年 7月25日～10月22日
		バイバイしかられオバケ しりあがり寿さんと いっしょにアニメをつくろう	平成19年 10月28日～11月12日
		水墨画 雲谷派の画家たち	平成19年 11月14日～12月3日
		美術動物園	平成19年12月5日～ 平成20年3月3日
		いなげな絵	平成20年 3月5日～6月2日
	展示室B	現代美術から重文・益田元祥像までー美術 時間旅行(タイムトラベル)	平成19年 4月18日～7月16日
		鷗外の文学と美術	平成19年 7月18日～10月15日
		草間彌生 ネットとドット	平成19年 10月17日～12月26日
		民芸 暮らしをいろどる(かたち)	平成20年 1月2日～3月17日
		モダンガール、モダンボーイになっちゃおう!	平成20年 3月22日～4月7日
	展示室C	ウィーンファッションと工芸	平成19年 4月13日～7月2日
		ポップ & サイケ '60-'70年代のファッション	平成19年 7月7日～10月14日
		「おしゃれ」をうつすーファッション写真と女性	平成19年12月19日 ～平成20年2月24日
	その他の展覧会	展示室D	第19回島根県健康福祉祭シルバー美術展
展示室D		第26回益田市美術展 独立書道益田共同 展示	平成19年 7月5日～7月9日
展示室D		第40回島根県総合美術展(県展)移動展	平成19年 12月21日～12月24日

企画展 森英恵 手で創る 東京ーパリー島根

展覧会名：森英恵 手で創る 東京ーパリー島根  
 会 期：平成19年4月20日(金)～6月11日(月)  
 休 館 日：毎週火曜日(ただし5月1日、8日は開館)  
 観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
 大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
 前売券[企画・常設展セット]  
 一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円  
 ※( )内は20名以上の団体料金。  
 ※小中高生の学校利用は無料。  
 ※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。  
 主 催：島根県立石見美術館、森英恵ファッション文化財団、  
 朝日新聞社、山陰中央新報社



展覧会ポスター

内 容

本県出身の著名なファッションデザイナー森英恵の作品を一望する企画。  
 森英恵は、50年にわたり国境のないファッションの世界で活動を続けてきた。とりわけ、1977年以降は、パリ、オートクチュール組合に属する唯一の東洋人として作品を発表し、日本のファッションデザイナーのパイオニアとして、その評価を揺るぎないものとしている。  
 今回の展覧会では、2006年春に東京の新国立劇場、秋にはパリで開催した展覧会出品の衣装を中心に展示した。日本の美意識を西洋のモードに巧みに織り込むことにより一躍森の評価を高めた初期の衣装から近作までおよそ80点。松井龍哉によるマネキン型ロボットも話題を呼んだ。

展覧会紹介記事

- 朝日新聞4月19日 大内純子「作品の内側にある魅力感じて」
- 朝日新聞、山陰中央新報、読売新聞、中国新聞4月21日 [展覧会開幕]
- 毎日新聞4月22日 [展覧会開幕]
- 山陰中央新報4月22日 [展覧会紹介]
- 山陰中央新報4月25日 南目美輝「東洋と西洋の出会い」
- 山陰中央新報4月30日 [展覧会紹介]
- 朝日新聞5月3日 [展覧会紹介]
- 山陰中央新報5月6日 [ワークショップ開催]
- 朝日新聞5月8日 [ワークショップ開催]
- 山陰中央新報5月9日 [舞台「胡蝶～能とバレエの宴～」開催]
- 朝日新聞5月17日 西岡一正「郷里・島根で50年の足跡たどる」
- 山陰中央新報5月20日 [展覧会紹介]
- 朝日新聞5月26日 池田美奈子「葛藤と共存と 東西の境に舞う」
- 山陰中央新報5月30日 [関連イベント映画会 篠田正浩監督講演開催]
- 日経EW5月号 三宅玲子「プロフェッショナルへの軌跡 森英恵」
- 地域創造レター4月号 [展覧会紹介] 等



会 場

印刷物

展覧会図録「森英恵 手で創る」  
 内 容：図版 衣装 12点  
 澄川喜一「ブラボー！モリ・ハナエ」  
 森英恵「東と西の出会い」  
 南目美輝「森英恵の「東と西」」  
 関連年譜  
 判 型：297mm×224mm 32ページ  
 編 集：森英恵ファッション文化財団  
 アートディレクション：廣村正彰  
 デザイン：中尾千絵  
 印 刷：大村印刷株式会社  
 発 行：島根県立石見美術館

展覧会ポスター：B2(デザイン：廣村正彰)  
 展覧会チラシ：A4(デザイン：廣村正彰)  
 ポイントガイド：A3三つ折り(デザイン：野村デザイン制作室)



能とバレエの宴「胡蝶」

関連事業

公演 能とバレエの宴「胡蝶」

能とバレエを組み合わせた「胡蝶」公演を実施。

■能「胡蝶」

出演：観世流26世宗家 観世清和

■バレエ「胡蝶」

出演：逸見智彦 吉岡まな美(ともに牧阿佐美バレエ団)

振付：牧阿佐美(新国立劇場舞踊芸術監督)

音楽：藤田流笛方11世家元 藤田六郎兵衛

日時：5月8日(火)18:30～

会場：大ホール

聴講者：750名

森英恵氏らによるトーク

「胡蝶」の衣装デザイン担当の森英恵氏と、バレエ振付担当の牧阿佐美らによるトーク。

出演：森英恵 牧阿佐美(新国立劇場舞台芸術監督) 恩田健志(朝日新聞)

山崎篤典(いわみ芸術劇場館長)

日時：5月8日(火)18:30～

会場：大ホール

参加者：750名

映画会「スパイ・ゾルゲ」

森英恵が衣装デザインを手がけた、篠田正浩監督の大作「スパイ・ゾルゲ」(2003年)を上映した。上映前に篠田監督による舞台挨拶を実施。

日時：5月27日(日)13:30～

会場：小ホール

入場者：300名



ワークショップ 「よそいき」を創ろう

ワークショップ 「よそいき」を創ろう

参加者に使わなくなった服や小物を持参してもらい、ビーズなどをとりつけ「よそいき」として再生させた。小学生から高齢者まで幅広い年齢層からの参加者があった。

日時：4月30日(月・祝)、5月12日(土)13:30～17:00

会場：講義室

参加者：39名

ワークショップ 「ガラスの蝶」を創ろう

ガラスの空き瓶に、色とりどりのガラスの破片を貼り付けキャンドルホルダーを作成。

できあがったホルダーは中庭に設置し、ろうそくを灯した。このインスタレーションは、「胡蝶」公演日にも実施し、大勢の観客がそれを鑑賞した。

日時：5月6日(日)13:30～17:00

会場：多目的ギャラリー

参加者：31名

中庭でのインスタレーション

日時：5月6日(日)、8日(火)夕刻

ギャラリートーク

講師：南目美輝(当館主任学芸員)

日時：4月22日(日)、5月13日(日)、6月10日(日)14:00～15:00

参加者：120名



ワークショップ 「ガラスの蝶」を創ろう



展覧会ポスター



イベントチラシ



会場

## 企画展 ボックスアート

展覧会名：ボックスアート ―プラモデルパッケージ原画と戦後の日本文化―

会 期：2007年8月10日(金)～10月8日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし、8月14日は開館)

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※( )内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、中国新聞社、中国放送

協 力：(株)タミヤ、(株)ハセガワ、(株)アオシマ文化教材社、(株)バンダイ、ロックウェーブ

監 修：工藤健志(青森県立美術館学芸員)

企画協力：モマ・コンテンポラリー

### 内 容

昭和30年代初頭に登場したプラモデルのパッケージ原画160点を中心に、戦前の木製模型や紙模型、プラモデルキットや国内を代表するモデラーによるジオラマ作品を展示。プラモデルという戦後の大衆文化を紹介した。

### 展覧会紹介記事

サンデー防府版5月19日 展覧会紹介

中国新聞8月9日 谷本和久「プラモデル箱絵一堂に 明日からグラントワ」

山陰中央新報8月8日 的野克之「ボックスアート展プラモデルパッケージ原画と戦後の日本文化」

読売新聞8月17日 前田恭一「ボックスアート展 戦後も残る戦中のイメージ」

中国新聞8月21日 プラモの箱絵・時代映すアート

赤旗8月22日 金子徹「モノが語る戦争5 小松崎茂と戦争画の進化」

中国新聞9月3日 谷本和久「戦後日本の模型開発秘話」

山陰中央新報9月3日 「物づくりおろそかに グラントワ タミヤ社長が講演」

RC WORLD 9月号 No.141 展覧会告知

RC MAGAZINE 9月号 展覧会告知

RC Sports 9月号 グラントワカップ告知

### 印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4

イベントチラシ：A4

(デザイン：すべて、H FOR GRAPHICS 植松久典)

### 関連事業

#### 講演会「戦後の日本文化とプラモデル」

講 師：田宮俊作(株式会社田宮代表取締役社長)

工藤健志(青森県立美術館学芸員・本展監修)

日 時：9月2日(日)14:00～15:30

会 場：小ホール

聴 講 者：160名

#### 映画会「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」

日 時：9月1日(土)13:30～

会 場：小ホール

参 加 者：68名

#### 夏休み工作教室1 プラモデル初級講座

講 師：山田卓司(情景作家)

日 時：8月12日(日)13:00～15:00

会 場：講義室



会場



講演会後のサイン会



夏休み工作教室1



夏休み工作教室2



グラントワカップ

対象：小学生以上(但し小学校3年生以下は保護者同伴)  
参加者：42名

### 夏休み工作教室2 ダンガンレーサーを作って遊ぼう!

講師：ボランティアスタッフ  
日時：8月19日(日)、8月26日(日)、10月7日(日) 各回13:00~15:00  
会場：(株)タミヤ  
対象：小中学生(但し小学校3年生以下は保護者同伴)  
参加者：118名

### アニメソングの女王 堀江美都子と歌おう!!

主催：島根県文化振興財団  
日時：8月26日(日)14:00~  
会場：大ホール  
参加者：580名

### のっぽさんのスペシャルショータイム!

日時：9月16日(日)14:00~  
会場：小ホール  
参加者：238名

### きんさいデー のりもの塗り絵

期日：10月7日(日)  
参加者：300名

### ラジコン大会 グラントワカップ'07

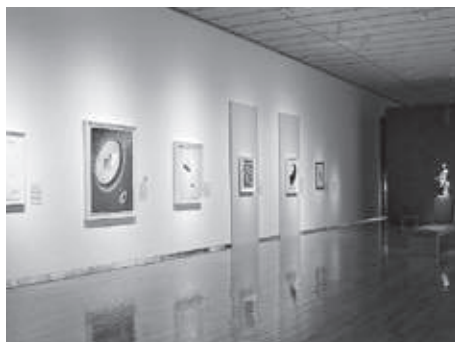
日時：9月23日(日) 10:00~16:30  
会場：グラントワ中庭特設コース  
協力：(株)タミヤ、益田ラジコン友の会、浜田アースRCC  
参加者：1173名(出場者・観戦者合計)



企画展 川村記念美術館所蔵 巨匠と出会う名画展



展覧会ポスター



会場



入館1万人セレモニー

展覧会名：川村記念美術館所蔵 巨匠と出会う名画展 ピカソ、ルノワール、モネ、大観、光琳、等伯・・・

会 期：平成19年10月19日(金)～12月16日(日)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※( )内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、朝日新聞社、山陰中央テレビ

特別協力：川村記念美術館(大日本インキ化学工業株式会社)

協 賛：株式会社大伸社

内 容

川村記念美術館は、大日本インキ化学工業株式会社とその関連会社が収集してきた美術品を公開するため、1990年に千葉県佐倉市に開館した市立の美術館。20世紀美術を中心として、レンブラント、印象派からピカソ、シャガール、日本の屏風まで、総数1000点を超えるコレクションを有し、なかでも第2次世界大戦後のアメリカ美術の秀作を数多く収蔵している。

本展は、川村記念美術館の増改築工事による一時休館にあわせ開催するもので、同館のコレクションが中国地方でまとめて展示されるのは、初めてのこと。西洋と日本の巨匠たちの名品67点を紹介した。

展覧会紹介記事

朝日新聞10月13日 開催告知記事

朝日新聞10月18日 森村泰昌 「絵画小僧」の成長物語

朝日新聞10月20日 展覧会紹介記事 巨匠の名画ずらり

読売新聞10月20日 展覧会紹介記事 近代西洋美術巨匠名画ズラリ

山陰中央新報10月21日 展覧会紹介記事 巨匠の名画ずらり

朝日新聞10月26日 作品紹介 レンブラント

朝日新聞10月27日 作品紹介 モネ

朝日新聞10月31日 作品紹介 ルノワール

毎日新聞11月6日 展覧会紹介記事 西洋と日本の巨匠の絵画67点

朝日新聞11月7日 作品紹介 ポロック

朝日新聞11月10日 展覧会紹介記事 タクシー運転手に説明会

中国新聞11月11日 展覧会紹介記事 タクシー経由集客狙う

朝日新聞11月11日 展覧会紹介記事 連続美術講座益田で始まる

朝日新聞11月22日 益田東高生徒 高校生の目

朝日新聞11月23日 展覧会紹介記事 「巨匠と出会う」1万人を超える

毎日新聞11月23日 展覧会紹介記事 来場者1万人達成 児童に図録贈る

中国新聞11月25日 展覧会紹介記事 名画展入場1万人

朝日新聞11月25日 益田高生徒 高校生の目

朝日新聞11月26日 益田東高生徒 高校生の目

朝日新聞11月29日 展覧会紹介記事 巨匠に出会えた

朝日新聞11月30日 益田高生徒 高校生の目

朝日新聞12月1日 益田東高生徒 高校生の目

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折り

子供のためのセルフガイド

シール

(デザイン：すべて株式会社大伸社)



記念講演会

関連事業

記念講演会「ミューズに憧れて—20世紀美術の誕生と展開」

講 師：宮下誠(國學院大學文学部教授)  
 日 時：11月3日(土)14:00～15:30  
 会 場：講義室  
 聴 講 者：38名

特別ギャラリートーク

講 師：林寿美(川村記念美術館学芸員)  
 日 時：10月20日(土)14:00～15:30  
 会 場：展示室D  
 聴 講 者：50名

連続美術講座

1「桃山絵画の奇才・長谷川等伯—《烏鷺図屏風》を中心に—」

講 師：大森拓土(島根県立美術館学芸員)  
 日 時：11月10日(土)14:00～15:00  
 会 場：講義室

2「前衛の時代・戦後の抽象美術」

講 師：南目美輝(当館主任学芸員)  
 日 時：11月17日(土)14:00～15:00  
 会 場：講義室

3「モダン・アートの幕開け—レンブラント、印象派からエコール・ド・パリまで—」

講 師：河野克彦(当館主任学芸員)  
 日 時：11月24日(土)14:00～15:00  
 会 場：講義室  
 聴 講 者：合計53名



特別ギャラリートーク

ギャラリートーク

講 師：当館学芸員  
 日 時：10月21日(日)、28日(日)、11月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)、  
 12月2日(日)、9日(日)、16日(日)いずれも14:00～  
 会 場：展示室D  
 聴 講 者：合計180名



ワークショップ 「My ふすま絵をつくろう!!」

ワークショップ「My ふすま絵をつくろう!!」

講 師：バジル・ツイスト  
 日 時：12月1日(土)10:00～14:30  
 会 場：多目的ギャラリー  
 参 加 者：22名

クリスマスワークショップ「羊毛で靴下をつくろう」

講 師：濱野由美(フェルト作家)  
 日 時：12月8日(土)13:30～16:30  
 会 場：多目的ギャラリー  
 参 加 者：26名



クリスマスワークショップ

いつでもどこでも音楽祭1

「印象派～モネ、ドビュッシー」

出 演：相川陽子(ピアノ)  
 日 時：10月20日(土)12:00～、13:30～  
 会 場：美術館ロビー

## いつでもどこでも音楽祭2

出 演：佐山雅弘(ピアノ)  
日 時：12月9日(日)12:30～  
会 場：大ホールホワイエ  
参 加 者：合計190人

## グラントワ tea ガーデン「香具茶(かぐわしちゃ)」

日 時：11月18日(日)11:00～  
会 場：美術館ロビー  
参 加 者：100人



展覧会ポスター



会場

## 企画展 モダンガールズあらかわ。

展覧会名：モダンガールズあらかわ。昭和初期の美人画展

会 期：平成20年2月29日(金)～4月7日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一 般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円  
大 学 生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円  
小 中 高 生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円  
前売券[企画・コレクション展セット]

一 般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

※( )内は20名以上の団体料金。

※小中高生の学校利用は無料。

※障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、山陰中央新報社、石見ケーブルビジョン

## 内 容

昭和戦前・戦中期の「モダンガール(モガ)」とよばれた都会生活を謳歌した女性を描いた絵画を中心に、当時のファッション雑誌やポスターなどもあわせて展示。モダンなファッションやライフスタイルを取り入れた女性像や、新しい表現で描かれた女性像を紹介し、この時代の女性がどのように見られていたかを探った。日本画、洋画、版画、商業美術といったジャンル、そして和装、洋装、ヌードの区別を超え、様々な女性像を通して「美人画」とは何であったのかを再考する機会とした。また、ファッションを収集方針のひとつに掲げている当館のコレクションを多数出品することで、館の特色を打ち出した内容となった。

## 展覧会紹介記事

りびえ～2月24日【特集「モダンガールズあらかわ。昭和初期の美人画展」】

いわみりびえ～2月24日【特集「モダンガールズあらかわ。昭和初期の美人画展」】

山陰中央新報2月28日【展覧会開幕記事】

中国新聞3月3日【展覧会紹介記事】

読売新聞3月6日【展覧会紹介記事】

毎日新聞3月27日【展覧会紹介記事】

山陰中央新報3月13日【文化欄 川西由里(当館主任学芸員)寄稿「モダンガールズあらかわ。昭和初期の美人画展」】

山陰中央新報3月12, 13, 14日【作品紹介 川西由里(当館主任学芸員)寄稿】

THE JAPAN TIMES 3月20日【WHAT'S ON:ARTS 展覧会紹介記事】

朝日新聞西部版3月21日夕刊【文化欄「モガ像 多彩に 昭和初期の美人画展」】

山陰中央新報3月22日【ファッションショー紹介記事】

『一枚の絵』2008年2月号 展覧会紹介記事

『家庭画報』2008年3月号 展覧会紹介記事

『アートコレクター』No.9 「山下裕二氏にさく 日本美術はもともとポップ・アートだった?!」

他

## 印 刷 物

展覧会図録「モダンガールズあらかわ。昭和初期の美人画展」

内 容：図版 絵画、版画、資料、衣装等100点

執 筆：論文 児島薫「奉祝の時代の女性像—昭和初期の美人画の意味するもの」

論文 川西由里「モガの肖像 榎本千花俊試論」

コラム 川西由里「夢二を追放した男—『婦人グラフ』の革命児、多々谷信乃、  
「何をお召しになりますか?—日本画と洋画に見る女性の装い」

コラム 真住貴子「洋画界のモダンボーイ、あらかわ」

コラム 南目美輝「お産を描く—向井久万《男児生る》」

コラム 河野克彦「スチールパイプ製のカンチレバーの椅子」

判 型：A4変形版 136ページ

編 集：川西由里

デザイン：野村勝久(野村デザイン制作室)

印 刷：大村印刷株式会社

発 行：島根県立石見美術館

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形版

オリジナルグッズ：あぶらとり紙



ワークショップ 完成した衣装を身につけた子どもたち

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

オープニングコンサート「昭和モダンのしらべ」

出演：折重由美子(ピアノ)  
日時：2月29日(金)14:00～  
会場：美術館ロビー

ワークショップ「モダンガール、モダンボーイになっちゃおう!」

講師：カナヒヒロミ(造形作家)  
日時：ワークショップ=3月8、9、15、16日(4回連続)  
ファッションショー=3月20日  
作品展示=3月22日～4月7日  
会場：ワークショップ=講義室、多目的ギャラリー  
ファッションショー=美術館ロビー  
作品展示=展示室B  
参加者：28名



ワークショップ展示風景

講演会「文学にみるモダンガールズ」

講師：今川英子(北九州市立文学館 副館長)  
日時：3月23日(日)14:00～15:30  
会場：講義室  
聴講者：27名

遊佐未森コンサート"スイート檸檬" ～メモリ館・昭和歌謡の夕べ～

出演：遊佐未森(歌)、今堀恒雄(ギター)、鶴来正基(ピアノ)、鈴木広志(サクソ)  
日時：3月29日(土) ミニコンサート=14:00～14:30  
コンサート=16:30～18:00  
会場：ミニコンサート=大ホールホワイエ、コンサート=小ホール  
入場者：ミニコンサート=約100名、コンサート=327名



遊佐未森コンサート

モダンひな飾り

日時：会期中随時  
会場：美術館展示前室で、折紙でつるし雛を作り、美術館ロビーに展示

ギャラリートーク

講師：川西由里(当館主任学芸員)  
日時：3月2日(日)、16日(日)、30日(日)、4月6日(日)いずれも14:00～15:00  
参加者：合計30名

その他

- ・会期中、和服で来館した方を無料で展覧会に招待
- ・会期中、先着2,000名にオリジナル「あぶらとり紙」をプレゼント

## 特別展

## 展示室D 美術館で初詣

会 期：平成20年1月2日(水)～2月18日(月)

内 容：お正月にちなみ、七福神や富士山などめでたい図柄の作品や、金地屏風など華やかな作品を展示。

## 出品リスト

No.	資料名	サブタイトル等	数量	年代	材質等
1	榎本 千花俊	春雪	昭和時代初期	絹本着色	島根県立石見美術館
2	池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色	島根県立石見美術館
3		奈良絵巻「大黒舞」	江戸時代前期	紙本着色	島根県立古代出雲歴史博物館
4		大国主六神図	江戸時代後期	木版着彩	島根県立古代出雲歴史博物館
5	磯田 湖龍斎	柱絵 宝船の七福神	江戸時代中期	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
6	鳥文斎 栄之	柱絵 宝船の七福神	江戸時代中期	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
7	豊原 国周	七福神餅つきの図	1867年	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
8	喜多川 歌麿	七福神宝船図	江戸時代	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
9	菊川 茂広	出雲の大社八百万神どふけあそび	近代	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
10		福神開酒宴	1891年	石版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
11	吉原 秀雄	恵美寿大黒西市詣之図	1888年	石版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
12	河鍋 暁斎	大黒天福引之図	明治時代初期	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
13		“大黒天大盤振る舞い”	江戸時代末～明治時代初期頃	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
14		おもちゃ絵 宝づくし	江戸時代末～明治時代初期頃	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
15	歌川 広重(初代)	春遊び福大黒	江戸時代	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
16	歌川 房種	福人遊	1885年 木版	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
17	歌川 国利	新版鼠の戯	江戸時代末～明治時代初期頃	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
18		しん板ねずみのたわむれ	1882年	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
19		大小曆“大黒ネズミ”	1864年	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
20	歌川 豊国(三代)画	見立七福(7枚組)	江戸時代末期	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
21		新版引札見本帖	1912年	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
22		引札 (17点)	明治時代～大正時代	木版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
23		略曆	1894年	石版、紙	島根県立古代出雲歴史博物館
24		絵銭 大黒	江戸時代後期	銅	島根県立古代出雲歴史博物館
25		慶長片面大黒板銀 2点	江戸時代前期	銀	島根県立古代出雲歴史博物館
26	小堀 鞆音	舞楽図屏風	明治時代末～昭和時代初期	紙本金地着色	島根県立石見美術館
27	長谷川 派	武蔵野図屏風	桃山時代末～江戸時代初期	紙本金地着色	島根県立石見美術館
28		人麩図屏風	江戸時代中期	紙本着色	島根県立石見美術館
29		舞踊図屏風	江戸時代初期	紙本金地着色	島根県立石見美術館
30	今尾 景年	花鳥図屏風	明治時代～大正時代	絹本着色	島根県立石見美術館
31	山本 栞谷	年中行事図屏風	江戸時代末期	紙本着色	島根県立石見美術館
32	狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	紙本墨画	島根県立石見美術館
33	米原 雲海	仙丹	1910年	木彫	島根県立石見美術館
34	葛飾 北斎	富嶽三十六景江都駿河町三井見世略図	1831-33年	木版、紙	島根県立美術館
35	葛飾 北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	1831-33年	木版、紙	島根県立美術館
36	葛飾 北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	1831-33年	木版、紙	島根県立美術館
37	葛飾 北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	1831-33年	木版、紙	島根県立美術館
38	大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	島根県立石見美術館
39	大下 藤次郎	富士山	1900-1911年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
40	五百城 文哉	富士図	1890-1906年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館

## 印刷物

展覧会チラシ：A4二つ折り(デザイン：野村デザイン制作室)

## 関連事業

## 新春ギャラリートーク

講 師：川西由里(当館主任学芸員)

日 時：1月2日(水)11:00～、14:00～

## お笑いギャラリートーク

講 師：岡宏三(島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員)

日 時：1月13日(日)14:00～



展覧会チラシ

## 展示室A 水辺の風景

会 期：平成19年4月11日(水)～7月23日(月)

内 容：当館所蔵の油彩画、水彩画、写真の中から、川や湖、海など、水辺を描いたものを展示した。

## 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	川村 清雄	緑陰牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
2	吉田 博	風景	大正時代前期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	島根県立石見美術館
6	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	五百城 文哉	富士図	1893-1906年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	白丸	1896-1897年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	島根県立石見美術館
18	大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
19	大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	島根県立石見美術館
20	大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
21	大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	島根県立石見美術館
22	大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
23	大下 藤次郎	波の音	1908年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
24	大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	島根県立石見美術館
25	大下 藤次郎	小豆島	1910年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
26	大下 藤次郎	暮景	1903-11年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	湖上の雲	1903-11年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎	入江	1903-11年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
29	大下 藤次郎	浜辺の松	1903-11年頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
30	大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	島根県立石見美術館
31	大下 藤次郎	溪流		水彩、紙	島根県立石見美術館
32	大下 藤次郎	川		水彩、紙	島根県立石見美術館
33	大下 藤次郎	帆船		水彩、紙	島根県立石見美術館
34		「ガゼット・デュ・ポントン」	1912-1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
35	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920-1922年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
36	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
37	マーティン・ムンカッチ	ハーバース・バザール1933年12月号	1933年	ゼラチン、シルバー、プリント	島根県立石見美術館

## コレクション展

### 展示室A 洋画家たちの海外留学

会 期：平成19年7月25日(水)～10月22日(月)

内 容：石見美術館のコレクションの中から留学など海外経験のある画家の作品を選び、画家たちが海外でつかんだ新しい表現に注目し展覧した。会期中一部展示替えを行った。

#### 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
2	黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
3	黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
4	藤島 武二	西洋婦人像	1908-1909年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
5	岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
6	安井 曾太郎	水浴図	1912-1925年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
7	児島 善三郎	椅子による	1912-1928年頃	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
8	中村 不折	裸体	1903-1905年頃	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	プリスパーン河	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	ロイヤルパーク・メルボルン	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	軍艦金剛にて	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	プリスパーン河	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
17	川村 清雄	緑蔭牧牛図	1911-1935年	油彩、銀箔、絹本	島根県立石見美術館
18	鹿子木 孟郎	加茂の森	1923年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
19	鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
20	中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
21	吉田 博	風景	1911-1920年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
22	満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
23	山本 鼎	筍	1938年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
24	藤田 嗣治	青いドレスの女	1939年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
25	藤田 嗣治	アントワープ 港の眺め	1923年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館

### 展示室A 水墨画 雲谷派の画家たち

会 期：平成19年11月14日(水)～12月3日(月)

内 容：雲谷派の作品を中心に、館蔵品より水墨画の作品を展示。

#### 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等益	山水図屏風	寛永中期	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
2	雲谷 等益	四季山水図屏風	元和年間	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
3	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画	島根県立石見美術館
4	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩	島根県立石見美術館
5	雲谷 等顔	押絵貼屏風	江戸時代初期	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
6	岡野 洞山	竹林七賢、商山四皓図屏風	嘉永元年(1848)	紙本墨画	島根県立石見美術館
7	曾我 蕭白	山水図	江戸時代中期	紙本墨画	島根県立石見美術館



## 展示室A 美術動物園

会 期：平成19年12月5日(水)～平成20年3月3日(月)

内 容：動物が表現された作品を、当館および島根県立美術館の収蔵品から紹介。参加型事業として、展示されている作品の動物にフキダシを作り、セリフを書いてボードに貼りつけられるカードを作成した。

## 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
2	川村 清雄	緑陰牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
3	山口 薫	馬	1950年	油彩、キャンバス	島根県立美術館
4	石橋 和訓	やまどり	1925年	油彩、キャンバス	島根県立美術館
5	竹内 栖鳳	藤花舜花群犬図屏風	1898年	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
6	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1889年	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
7	川村 曼舟	牧牛図	大正時代	紙本着色、双幅	島根県立石見美術館
8	平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	絹本着色	島根県立石見美術館
9	尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画、双幅	島根県立石見美術館
10	山田 道庵	芦雁図	室町時代末期～桃山時代	紙本墨画、双幅	島根県立石見美術館
11	曾我 二直菴	鷺図	江戸時代前期	紙本墨画	島根県立石見美術館
12	中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色	島根県立石見美術館
13	中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色	島根県立石見美術館
14	今尾 景年	雪南天狗児図	1898年	紙本着色	島根県立石見美術館
15	龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	島根県立石見美術館
16	富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代	猪の牙	島根県立石見美術館
17	富春	石見根付 亀	江戸時代	木	島根県立石見美術館
18	富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	江戸時代	鯨の歯	島根県立石見美術館
19	ラウル・デュフィ	ピアンキニフェル社のためのテキスタイル「虎と象」	1910-20年代		島根県立石見美術館
20	ラウル・デュフィ	ピアンキニフェル社のためのテキスタイル「ペカン」	1910-20年代		島根県立石見美術館
21	ラウル・デュフィ	ピアンキニフェル社のためのテキスタイル「チベットの山羊」	1910-20年代		島根県立石見美術館
22	ラウル・デュフィ	ピアンキニフェル社のためのテキスタイル「お粥」	1910-20年代		島根県立石見美術館
23	ラウル・デュフィ	ピアンキニフェル社のためのテキスタイル「海馬鯨貝殻」	1910-20年代		島根県立石見美術館

## 展示室A いなげな絵

会 期：平成20年3月5日(水)～平成20年6月2日(月)

内 容：おかしな、不思議な、変な、あやしいなどの意味がある石見地方の方言「いなげ」。館蔵品のなかからいなげな絵を紹介した。

## 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	岩本 拓郎	無題	1975年	銅版画、ドライポイント、紙	個人
2	岩本 拓郎	無題	1975年	銅版画、ドライポイント、紙	個人
3	岩本 拓郎	無題	1975年	銅版画、ドライポイント、紙	個人
4	草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
5	草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
6	ソニア・ドローネー	「絵画・オブジェ・同時代的テキスタイル・モード」[1]. 1919-1923年 トリスラン・ツァラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
7	ソニア・ドローネー	「絵画・オブジェ・同時代的テキスタイル・モード」[3]. 1923-1924年 トリスラン・ツァラ「ガスで動く心臓」より	1925年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
8	ソニア・ドローネー	「絵画・オブジェ・同時代的テキスタイル・モード」[7]. 1915年 ホルトガルの玩具	1925年	ポシヨワール、紙	島根県立石見美術館
9	松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色	島根県立石見美術館
10	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)赤いマリリン	1996年	エタ・カラー・ウルトラII・アクリル加工	島根県立石見美術館
11	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)バルドーとしての私・2	1996年	エタ・カラー・ウルトラII・アクリル加工	島根県立石見美術館
12	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)ヤマグチ・モモエとしての私	1996年	エタ・カラー・ウルトラII・アクリル加工	島根県立石見美術館
13	曾我 宗文	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画	島根県立石見美術館
14	曾田 友栢	達磨図	桃山～江戸時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
15	周憲	達磨図	室町時代後期	紙本墨画	島根県立石見美術館
16	海北 友松	祖師図(達磨)	桃山時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
17	海北 友松	祖師図(巖頭)	桃山時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
18	近衛 信伊	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画	島根県立石見美術館
19	雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画	島根県立石見美術館
20	斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画	島根県立石見美術館
21	作者不詳	遊女柳橋扇面流図屏風	江戸時代前期	紙本着色	島根県立石見美術館

## コレクション展

### 展示室B 現代美術から重文・益田元祥像まで—美術時間旅行(タイムトラベル)

会 期：平成19年4月18日(水)～7月16日(月)

内 容：現代から安土桃山時代へと、時代をさかのぼる美術展。

#### 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草間 彌生	シルバーを食べて	2006年	ミクストメディア	島根県立石見美術館
2	香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画	島根県立石見美術館
4	草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
5	草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
6	東郷 青児	婦人像	1930～1935年頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
7	大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	島根県立石見美術館
8	大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	島根県立石見美術館
9	富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色	島根県立石見美術館
10	山本 琴谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩	島根県立石見美術館
11	狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	1800年頃	絹本墨画	島根県立石見美術館
12	曾我 蕭白	楼閣山水図	1770年代頃	紙本墨画	島根県立石見美術館
13	円山 応挙	柿本人麻呂像	1765年頃	紙本墨画	島根県立石見美術館
14	曾我 二直菴	鷲鷹図	1635～1652年	紙本墨画	島根県立石見美術館
15	狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色	島根県立石見美術館

### 展示室B 鷗外の文学と美術

会 期：平成19年7月18日(水)～10月15日(月)

内 容：当館は、石見出身の文豪として知られる森鷗外ゆかりの美術家の作品を収集している。このたびの展示では、交友のあった画家の作品の隣に、鷗外の小説や随筆の抜粋を掲示し、画家と鷗外との関係を示した。また、鷗外の初版本と、装丁を行った画家の作品も展示した。この展覧会にちなみ、鷗外の本の装幀を元に「ぬりえ」形式の投票用紙を作成し、来館者が気に入った作品の塗り絵をし、ボードに貼りつけていく形式の人気投票も行った。

#### 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
2	原田 直次郎	男児図	明治20年代	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
3	森 鷗外 著、 原田 直次郎 挿画	『新著百種 文つかひ』	1891年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
4	宮 芳平	自画像	1920年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
5	宮 芳平	風景	大正時代	油彩、板	島根県立石見美術館
6	宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
7	宮 芳平	村里	1933年	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
8	和田 英作	風景	1914年	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	磐梯噴火口	1906年	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	庭の一隅	1909年	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	峠の木		水彩、紙	島根県立石見美術館
14	橋口 五葉	髪梳ける女	1920年	木版、紙	島根県立美術館
15	橋口 五葉	夏衣の女	1920年	木版、紙	島根県立美術館
16	中村 不折	裸婦	明治時代末～大正時代 初期頃	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
17	木下 空太郎	助六	不詳	油彩、キャンバス	寄託作品
18	長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	島根県立石見美術館
19	森 鷗外 著、 橋口 五葉 装丁	『青年』	1913年		島根県立石見美術館
20	森 鷗外 著、 橋口 五葉 装丁	『塵泥』	1915年		島根県立石見美術館
21	森 鷗外 著、 中村 不折 装丁	『人の一生 飛行機』	1911年		島根県立石見美術館
22	森 鷗外 著、 藤島 武二 装丁	『蛙』	1919年		島根県立石見美術館
23	森 鷗外 著、 藤島 武二 装丁	『寂しき人々』	1911年		島根県立石見美術館

## コレクション展

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
24	森 鷗外 著、 木下 奎太郎 装丁	『ギョツ』	1916年		島根県立石見美術館
25	森 鷗外 著、 長原 孝太郎 装丁	『謎』	1914年		島根県立石見美術館
26	森 鷗外 著、 長原 孝太郎 装丁	『玉匣両浦島』	1902年		島根県立石見美術館
27	大下 藤次郎	「ぬれきぬ」	1890年		島根県立石見美術館
28	大下 藤次郎 著	『水彩画の葉』	1901年		島根県立石見美術館
29	森 鷗外	水彩画の葉題言	1901年		島根県立石見美術館

## 展示室B 草間彌生 ネットとドット

会 期：平成19年10月17日(水)～12月26日(水)

内 容：日本を代表する美術家、草間彌生の特集展示。ネット(網目)とドット(水玉)により構成される作品を紹介した。

## 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
2	草間 彌生	No.235	1953年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
3	草間 彌生	18J	1954年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
4	草間 彌生	18Q	1956年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
5	草間 彌生	18C	1958年	グアッシュ、パステル、紙	島根県立石見美術館
6	草間 彌生	自己消滅1	1960-74年	マネキン、テーブル、椅子、 彩色	個人蔵
7	草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ、水彩、パステル、紙	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	地上の銀	1990年	詰物入り縫製布、ドレス、ハンガー、既製品、彩色	個人蔵

## 展示室B 民芸 暮らしをいろどる〈かたち〉

会 期：平成20年1月2日(水)～3月17日(月)

内 容：日常使いの生活用具のなかに「健やか」な美を見出した民芸運動。そうした動向と深くかかわった河井寛次郎、浜田庄司、バーナード・リーチの作品を紹介した。

## 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	河井 寛次郎	流し釉鉢	1930年頃	陶土	島根県立美術館
2	河井 寛次郎	草花文土瓶	1935年頃	陶土	島根県立美術館
3	河井 寛次郎	白地草花絵扁壺	1939年	陶土	島根県立美術館
4	河井 寛次郎	呉須辰砂草絵壺	1938年頃	陶土	島根県立美術館
5	河井 寛次郎	呉須花文扁壺	1941年頃	陶土	島根県立美術館
6	河井 寛次郎	拓摺集「火の誓ひ」	1971年	紙	島根県立美術館
7	浜田 庄司	赤絵角皿	1940年頃	陶土 色絵付	島根県立美術館
8	浜田 庄司	白釉盛絵花瓶	1955年	陶土	島根県立美術館
9	浜田 庄司	柿釉赤絵角鉢	1972年	陶土	島根県立美術館
10	バーナード・リーチ	ガレナ釉筒描風景図大皿	1953年	陶土	島根県立美術館
11	バーナード・リーチ	青白磁碗	1970年	陶土	島根県立美術館
12	バーナード・リーチ	黒釉角壺	1973年	陶土	島根県立美術館

## コレクション展

### 展示室C ウィーンのパッションと工芸

会 期：平成19年4月13日(金)～7月2日(月)

内 容：20世紀初頭、ウィーンでは時代にあった新しい芸術を求める動きが起こった。ファッションや工芸の領域に注目し、ウィーン独自のスタイルを持つ作品を展示した。

#### 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女		彩色・版画、紙	島根県立石見美術館
2	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1920-21年	銀	島根県立石見美術館
3	ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年	陶器	島根県立石見美術館
4		プレスレット	1930年頃	銀	島根県立石見美術館
5	ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	島根県立石見美術館
6	ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	島根県立石見美術館
7	ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ	島根県立石見美術館
8	マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ	島根県立石見美術館
9	ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919/20年	絹	島根県立石見美術館
10	ダゴベルト・ベッヒエ	テキスタイル「ヴァンダーパウム」	1911-16年	絹にプリント	島根県立石見美術館
11	フェリス・リクス＝ウエ	テキスタイル「クレムリン」	1929年	絹にプリント	島根県立石見美術館
12	マリア・リカルツ	無題	1916年	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	ウィーン工房	婦人の生活	1916年	ポートフォリオ、手彩色木版	島根県立石見美術館
14		モード・ウィーン1914/15	1914/15年	木版・一部水彩加筆、紙	島根県立石見美術館
15	ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン テキスタイル「レインボー」	1919年頃	色を濃淡にぼかした縞模様プリント	島根県立石見美術館
16	マックス・スニェウ	ドレス テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	濃い青で縁取られたウエストまで届くV字の襟、袖も青の絹で縁取り	島根県立石見美術館

### 展示室C ポップ&サイケ '60-'70年代のファッション

会 期：平成19年7月5日(木)～10月14日(日)

内 容：60年代以降、若い世代が好みファッションに大きな影響を与えたミニやパンツスタイル。ポップな柄、サイケデリックなデザインの衣装を中心に紹介した。

#### 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	作者不詳	ペーパー・ドレス	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントをほどきたセルロースと綿の不織布	島根県立石見美術館
2	アンドレ・クレージュ	ドレス、ブーツ、カメラ	1960年代後半～1970年	オレンジ色のビニール 銀色の革製のブーツ アクセサリーとして日本製カメラ(ミルタ製)	島根県立石見美術館
3	バコ・ラバンヌ	ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス	島根県立石見美術館
4	ザンドラ・ローズ	カフタン風ワンピース・ドレス	1969年	絹シフォンに黒、黄、緑で円形、チェーンステッチ柄、波形をプリント、フード付き	島根県立石見美術館
5	アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965-1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツイース・ドレス、裏地はクリーム色の絹	島根県立石見美術館
6	アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革 ファスナー付き	島根県立石見美術館
7	イブ・サンローラン	ドレス	1967-1968年	黄色の絹オーガンジー、ピンク、黄色のスパンコール 脚周りで刺繍 黄色のオスリチ(ダチョウ)・フェザー	島根県立石見美術館
8	ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライムグリーンとブルーのジグザグパターン ウール・ニット ボタン付きベルト	島根県立石見美術館
9	ルディ・ガンライヒ	ドレス	1967年	ピンクのウール・ニット 胸部はビニール	島根県立石見美術館
10	ルディ・ガンライヒ	ドレス	1967年	ライム・グリーンウール・ニット 腹部はビニール	島根県立石見美術館
11	バーバラ・ワニッキー/ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット	島根県立石見美術館
12	バーバラ・ワニッキー/ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	綿にプリント「サンダーソン」社製テキスタイル テーラード・ジャケット	島根県立石見美術館
13	アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年頃	青と白のウール 茶色の革のトリミング 折り返しのあるカフス	島根県立石見美術館
14		雑誌『VOGUE』仏・英版	1960-1970年代		島根県立石見美術館
15	ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル プラスティック製のシダのモチーフの飾り	島根県立石見美術館
16	ハーバード・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット 木製ソールは金色に塗装	島根県立石見美術館

## 展示室C 「おしゃれ」をうつす—ファッション写真と女性

会 期：平成19年12月19日(水)～平成20年2月24日(日)

内 容：時代の流行衣装をまとった女性たちの姿は、写真により記録されてきた。『ヴォーグ』等の雑誌を飾ったファッション写真を紹介した。

## 出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ルトランジェ	不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
2	アドルフ・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
3	アドルフ・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
4	エドワード・スタイクン	ナティカ・ナスト	1923年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
5	エドワード・スタイクン	F.A.ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
6	マン・レイ	モード1	1945-1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
7	マン・レイ	モード2	1945-1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
8	マン・レイ	モード3	1945-1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
9	マン・レイ	モード4	1945-1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立美術館
10	マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
11	マーティン・ムンカッチ	『ハーバース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
12	マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーバース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
13	ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
14	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
15	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
16	ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
17	セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
18	セシル・ビートン	題不詳(1947年11月10日)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
19	セシル・ビートン	題不詳(1947年11月28日)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
20	セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
21	リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
22	ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
23	ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
24	ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
25	サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
26	ピーター・リンダーバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、仏『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館

## その他の展覧会

### 第19回島根県健康福祉祭シルバー美術展

会 期：平成19年6月23日(土)～6月25日(月)  
場 所：展示室D

### 第26回益田市美術展 独立書道益田共同展示

会 期：平成19年7月5日(木)～7月9日(月)  
場 所：展示室D

### 第40回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成19年12月21日(金)～12月24日(月)  
場 所：展示室D

## 教育普及活動



しりあがり寿によるオバケ《テレビの見すぎのテレビンガー》



「しかられオバケ」を描いているところ



アニメに、参加者の声も収録した



『テーパーン』



木ノ口神楽社中とのエキスチェンジ・ワークショップの様子

## 【開館特別事業】

## 一歩近づく現代美術

「バイバイしかられオバケ しりあがり寿さんといっしょにアニメをつくろう」

地域の子どもたちが美術に親しむことを目的に実施する事業。

今回は、漫画家として知られるしりあがり寿氏を招き、地域の子どもたちと一緒にアニメの製作を行った。製作したアニメ、および子どもたちが描いたキャラクターの原画は展示室Aに展示した。子どもたちが制作したキャラクターは、「自分が普段、親や先生などから叱られる原因となっている、悪いところや、直したい性格をオバケで表現」したものの。結果アニメには、多様なオバケのキャラクターが登場することになった。キャラクターの背景には、石見地方を象徴する風景や、石見神楽に登場するキャラクターなども配された。アニメは展示室内の大型スクリーンに投影した。

あわせてしりあがり寿氏の映像作品《shuffle》を展示。オヤジの顔を来場者がトレース、その絵をデータに足してゆき、大型スクリーンにランダムに投影するというもの。

## ワークショップ

日 時：10月27日(土)10:00～16:00

講 師：しりあがり寿(漫画家)

参 加 者：20名

## 展 示

会 期：10月28日(日)～11月12日(月)

会 場：展示室A

## しりあがり寿

1958年静岡市生まれ。多摩美術大学卒業後、1981年キリンビール株式会社入社。1985年会社勤めのかたわら漫画家として初の単行本「エレキな春」(白水社)を出版。2000年「時事おやじ2000」(アスペクト)、「ゆるゆるオヤジ」(文藝春秋)にて第46回文藝春秋漫画賞を受賞。2001年には「弥次喜多 in Deep」(エンターブレイン)で第5回手塚治虫文化賞「マンガ優秀賞」を受賞。

## 【ダンス公演】

「タイ×日本共同制作ダンス公演『テーパーン』×木ノ口神楽社中」

第1部 ピチュ・クランチェンと木ノ口神楽社中によるセッション

第2部 木ノ口神楽社中 『塵輪』

第3部 タイ×日本共同制作ダンス『テーパーン』

タイの舞踏家、ピチュ・クランチェンと日本をベースに活動するアーティスト(伊藤恵、イム・ジョンミ、北原倫子、ピーター・ゴライトリ)との共同制作作品『テーパーン』、そして木ノ口神楽社中の神楽を上演した。

公演に先立ち、ピチュ・クランチェンとアーティストたちは、日原小学校でワークショップ、および高津神楽社中、木ノ口神楽社中とエキスチェンジ・ワークショップを実施。

なお本事業は、当館の教育普及事業のみならず、平成19年度文化庁「舞台芸術の魅力発見事業」、日タイ修好120周年記念事業でもあった。

日 時：12月24日(月/祝)16:00～18:00

会 場：島根県芸術文化センター「グラントワ」小ホール

料 金：一般(前売)1500円/(当日)1800円/中高生1000円 小学生以下無料

主 催：島根県立石見美術館、NPO法人 DANCE BOX、文化庁

協 力：津和野町日原中央公民館、枕瀬公民館、高津神楽社中、木ノ口神楽社中

## 【かえっこバザール】

福岡県在住の美術家、藤浩志氏が提案する子ども達のユニークな空間「かえっこバザール」(使わなくなったおもちゃを子供たちが交換するイベント)を開催した。

## 【第一回】

日 時：10月7日(日)13:00～15:00

会 場：中庭広場

参 加 者：約100名



「かえっこバザール」の様子

子どもスタッフ：9名

**【第二回】**

日 時：2月9日(土)14:00～16:00

会 場：美術館ロビー

参 加 者：約60名

子どもスタッフ：9名

**【出前講座】**

学芸員による「出前講座」を、美術館開館前の平成15年度より実施している。今年度は12回実施。

**【森鷗外ゆかりの美術家】**

スライドを用いながら、森鷗外と美術との関係について、ドイツへ留学中の美術への傾倒と、画家たちとの交友を中心に紹介。

日 時：平成19年5月11日(金)

講 師：川西由里

参 加 者：くにびき学園受講生(11名)

**【ふろしきでつつんでみよう】**

身の回りにある様々なものを、風呂敷を使って包むという実技講座。ふろしきの歴史も併せて紹介。

日 時：平成19年7月25日(水)14:00～15:00

講 師：南目美輝

参 加 者：津和野町立小川公民館 成人学級(20名)

**【ふろしきでつつんでみよう】**

日 時：平成19年8月31日(金)9:30～10:30

講 師：南目美輝

参 加 者：津和野町立木部公民館 成人学級(20名)

**【フォト・フレームを作ろう】**

お気に入りの写真を持ってきて、その周りに色紙などを切り貼りしてお手製のフレームをつくる、デザインの授業を行った。

日 時：平成19年10月25日(木)8:40～12:15

講 師：真住貴子

参 加 者：桂平小学校(16人)

**【水彩画指導】**

風景画の下絵に水彩で着彩する方法を指導した。

日 時：平成19年10月25日(木)14:00～15:45

講 師：真住貴子

参 加 者：桂平小学校(7人)

**【身の回りのものをデザインしよう】**

デザイン画を鑑賞した後、ハンカチなど身の回りの物のデザイン画を描いた。

日 時：平成19年11月27日(火)9:30～10:45

講 師：南目美輝

参 加 者：益田市立吉田小学校(6人)

**【身の回りのものをデザインしよう】**

無地のハンカチにクレヨンで絵を描いて自分のハンカチをデザインした。

日 時：平成19年12月3日(月)9:30～10:45

講 師：真住貴子

参 加 者：益田市立吉田小学校(6人)

**【雪舟と水墨画】**

雪舟をはじめとする水墨画の作品についてスライドで鑑賞し、その後水墨画に挑戦した。

日 時：平成20年2月1日(金)10:50～12:40

講 師：真住貴子



参加者：益田市立西南中学校(18人)

### 【雪舟と水墨画】

雪舟をはじめとする水墨画の作品についてスライドで鑑賞し、その後水墨画に挑戦した。

日時：平成20年2月6日(水)14:00～15:40

講師：真住貴子

参加者：益田市立匹見小学校(17人)

### 【身のまわりのものをデザインしよう】

デザイン画を鑑賞した後、ハンカチなど身の回りの物のデザイン画を描いた。

日時：平成20年2月7日(木)10:40～11:30

講師：南目美輝

参加者：益田市立鎌手中学校(27人)

### 【絵の中を遠足】

様々な絵の中に入り込んだ気持ちになって、風景画を鑑賞した。

日時：平成20年2月7日(木)11:40～12:30

講師：真住貴子

参加者：益田市立鎌手中学校(12人)

### 【絵の中を遠足】

様々な絵の中に入り込んだ気持ちになって、風景画を鑑賞した。

日時：平成20年3月11日(火)10:40～12:15

講師：真住貴子

参加者：益田市立豊川小学校(34名)

### 【教員研修】

「澄川喜一講演会 美術館と学校」

当館館長澄川による教師向け講演会。

日時：平成19年6月21日(木)18:30～19:30

講師：澄川喜一

参加者：33名

### 【教員研修 水彩画の基礎知識】

平成19年度益田市工芸・美術教育研究会研修会として、水彩画の基礎知識について研修した。

日時：平成19年8月23日(木)10:00～15:00

講師：真住貴子

参加者：20名

### 【グラントワ親子写生大会】

親子でグラントワを写生する。学芸員が指導にあたった。

日時：平成19年10月21日(日)9:00～12:00

講師：真住貴子

主催：山陰中央新報社

参加者：23名

### 【ギャラリートーク】

神戸ファッション美術館で開催された「島根県立石見美術館コレクション展 ウォルトから森英恵、そしてデュフィ」展にあわせ、ギャラリートークを実施。

日時：平成19年5月19日(土)13:30～14:30

講師：南目美輝

会場：神戸ファッション美術館展示室

参加者：約50名

### 【博物館実習】

日時：平成19年8月20日(月)～8月24日(金)

参加者：愛媛大学、高知女子大学学生(2名)

## ボランティア

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうちの美術館ボランティアには、「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」のふたつがあり、それぞれ10数名のボランティアが活動している。

### 【ギャラリートークボランティア】

コレクション展について、会期中の土日、午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)の交代制で実施。各展覧会のトーク開始前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を受講している。

### 【活動記録】

4月11日～ 7月23日 コレクション展「水辺の風景」  
 7月25日～10月22日 コレクション展「洋画家たちの海外留学」  
 7月 7日～10月14日 コレクション展「草間彌生 ネットとドット」  
 11月14日～12月 3日 コレクション展「水墨画 雲谷派の画家たち」  
 12月 5日～ 3月 3日 コレクション展「美術動物園」

### 【ワークショップボランティア】

企画展関連のワークショップから学校での出前講座まで、さまざまな企画についてボランティアはアシスタントとして事業に関わっている。

### 【活動記録】

4月30日、5月12日 「『よそいき』を創ろう」  
 5月 6日 「ガラスの蝶」を創ろう  
 8月19日、26日、10月7日 「ダンガンレーサーを作って遊ぼう!」  
 9月23日 「ラジコン大会 グラントワカップ'07」  
 10月 7日 「かえっこバザール」  
 12月 1日 「My ふすま絵をつくろう!!」  
 12月 8日 クリスマス・ワークショップ「羊毛で靴下をつくろう」  
 2月 9日 「かえっこバザール」

## 連携事業

## 1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる

## 2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、萩博物館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館(以上6館)

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

## 3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設(4施設)

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館(コレクション展・企画展)、浜田市立石正美術館、  
・浜田市世界こども美術館(館主催の展示のみ)

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,000円

○加入施設(5施設)

島根県立石見美術館(コレクション展のみ)、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売(使用開始)の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効

## 4. 割引制度

下記に掲げる乗車券等、観覧券を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券(半券)

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券(半券)

⑧ 島根県立美術館の観覧券(半券)

⑨ 島根県いわみ芸術劇場で開催される催し物(当日のみ有効)の有料入場券(半券)

⑩ 提携館が発行する年間パスポート(期限内)

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリ美術館・サントリミュージアム[天保山]・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界こども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑪ 提携カード

・しまねカード(島根県広島事務所)・しまね子育て応援パスポート(島根県少子化対策推進室)・ちゅーピーくらぶ(株式会社中国新聞社)・ドゥブレ(財団法人広島勤労者職業福祉センター)・とっとり子育て応援パスポート(鳥取県子育て支援総室)・やわらぎカード(株式会社オーエムシーカード)・ゆめカード(株式会社ゆめカード)・JAカード(三菱UFJニコス株式会社)・JAF(社団法人日本自動車連盟)・SDカード(自動車安全運転センター)

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝潮流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139.0×57.0
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131.0×42.0
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128.0×42.0
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鐔木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳鳩	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周憲	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薜花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隱図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129.0×41.0
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125.0×71.0

## 所蔵作品一覧

## 日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150.0×70.0
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

## 油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ・角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ・角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0

所蔵作品一覧

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
ウイーン工房(フレグ ル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン・エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0

## 所蔵作品一覧

## 版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ジャン・エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚、エキストラプレート3枚	
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッセ・カルム	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒェ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912～25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ドゥイ』	1912～22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ・モード』	1912～14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

## 水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
五百城 文哉	富士図	1893～1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6

所蔵作品一覧

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896～1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、ニュー・サウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903～1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ホピー	1903～1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903～1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3



## 所蔵作品一覧

## 水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	せせらぎ	1903～1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903～1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903～1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903～1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903～1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903～1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903～1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903～1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903～1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5

所蔵作品一覧

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5

## 所蔵作品一覧

## 水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

## 素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	国の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892～1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はげのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

所蔵作品一覧

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
森村 泰昌	美に至る病 女優になった私(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	120.0×95.0
アーヴィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファープリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイロード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イヴニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、ニューヨーク州ヨンカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	万国博覧会 『ハーバース・バザール』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	ロング・アイランド・ビーチのルシール・ブロコウ『ハーバース・バザール』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	そよ風の中のベニョワール 『ハーバース・バザール』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

## 所蔵作品一覧

## 工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪の牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	幅4.8 高さ1.5 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・べっ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙刻	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙(彫刻)	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920-21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

## 彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F. R. P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木彫	高34.0

## 服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	カフタン、ドレス	1960年代後半～1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1960年代後半～1970年代前半	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イヴニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプスーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イヴニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイヴニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	イヴニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ。
森 英恵	イヴニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イヴニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス
アリックス・グレ	イヴニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イヴニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。

所蔵作品一覧

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディ中央とカフに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イブ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテルドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イブ・サンローラン	ディナー・ドレス[Musique de Nuit]	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグランスリーブ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イブ・サンローラン	イヴニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイヴニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	「サロン」シヨール付イヴニング・ドレス	1992年	透けた黒のストレッチ素材。黒のシヨール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	「18世紀スタイル」イヴニング・ドレス	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラットフォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	「リパティコレクション」ジャケット、スーツ、パンツ、シャツ	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドのはいったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラットフォーム・シューズ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スカパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スカパレリ	イヴニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。パイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イヴニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレスドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレスドレス。襟元にボー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オーガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコレット。巻きスカート、シューズ型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグランスリーブ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスブリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール ／イブ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグランスリーブ。幅広い帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコレットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール ／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーブ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～51年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホースヘア、銀のスパンコール、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコートドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドールドレス」。黒の絹のスリッパドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビー・ドール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ。

## 所蔵作品一覧

## 服飾

作家名	作品名	制作年	材質
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボディとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセルレースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イヴニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボディとスカート上部に金銀のスパンコールなどによる刺繍。
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリアン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イヴニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イヴニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュールネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッキー／ピバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラードジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッキー／ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット。
バコ・ラバンヌ	イヴニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス。
ビエール・バルマン	イヴニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースターを6段に重ねたオリジナルのペチコート付き。
ピバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラードジャケット、ヒップボーンフレアーパンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ボワレ	イヴニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーンシフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン絹シフォン。
ポール・ボワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ボワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花卉の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ボワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ボワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ボワレ	デイドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ボワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグランスリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イヴニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダードレス。

所蔵作品一覧

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
マリア・モチナ・ガレンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンブーシェ	イヴニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグランスリーブ。
リバティ商会	コート	不詳	青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のもティーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンとブルーのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパードレス」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーンとブルーのウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イヴニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーンとブルーのゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。



## 所蔵作品一覧

## テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912-1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922-1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴァンダーバウム」	1911-16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

## テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912-1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922-1930年代	水彩、紙

## ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ボーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

## 所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「Monsieur Dior × John Galliano ～モードを変えた二人の奇才～」 ディオール銀座 平成19年4月20日～5月31日	クリスチャン・ディオール 《ポール・ガウン(アイボリーの絹ファイユのストラップレスドレス)》
「島根県立石見美術館コレクション展 ウォルトから森英恵、そしてデュフィ」 神戸ファッション美術館 平成19年4月20日～7月3日	《女性用乗馬服(1890年頃)》 ジャン=フィリップ・ウォルト《ポール・ガウン》 ジャン=フィリップ・ウォルト《ウェディング・ドレス》 マリアノ・フォルチュニ《コート》 マリアノ・フォルチュニ《ブリーツ・ドレス「デルフォス」》 マリア・モチナ・ガレンガ《ティア・ガウン》 ポール・ボワレ《イブニング・ドレス》 ポール・ボワレ《デイ・ドレス》 マックス・スニェク《ドレス、テキスタイル「バイエル」》 マックス・スニェク《ドレス、テキスタイル「エロス」》 《水着(1920年頃)》 リバティ《コート》 マドレーヌ・ヴィオネ《イブニング・ドレス》 マドレーヌ・ヴィオネ《イブニング・ドレス、スリッパ、ストール》 ガブリエル・シャネル《イブニング・ドレス》 スザンヌ・タルボット《イブニングコート》 レドファン《コート》 ジャンヌ・ランヴァン《ドレス》 ジャンヌ・ランヴァン《イブニング・ドレス》 メンバーシェ《イブニング・ドレス》 エルザ・スキヤパレリ《イブニング・ドレス》 エルザ・スキヤパレリ《イブニング・ドレス》 ニナ・リッチ《イブニング・ドレス》 エルメス《水着》 チャールズ・ジェームス《ディナー・ドレス「スパイラルドレス」》 クリストバル・バレンシアガ《ケープ》 クリストバル・バレンシアガ《チューブ型シース・ドレス》 クリストバル・バレンシアガ《カクテル・ドレス》 クリストバル・バレンシアガ《コート・ドレス》 ピエール・バルマン《イブニング・ドレス》 アリックス・グレ《イブニング・ドレス》 クリスチャン・ディオール《デイ・ドレス》 クリスチャン・ディオール《ディナー・ドレス「カラカス」》 クリスチャン・ディオール《カクテル・ドレス》 クリスチャン・ディオール/イブ・サンローラン《ディナー・ドレス》 クリスチャン・ディオール/マルク・ボアン《ディナー・ドレス》 イブ・サンローラン《ディナー・ドレス「Musique de Nuit」》 ヴィヴィアン・ウエストウッド《「18世紀スタイル」イブニング・ドレス》 ヴィヴィアン・ウエストウッド《ドレス 靴》 森 英恵《イブニングコート、ドレス》 森 英恵《カフタン、ドレス》 森 英恵《イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」》 ラウル・デュフィ《ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル》5点 ラウル・デュフィ《ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン》34点
「感動・愛媛の美術家たち一大正から戦前の昭和の美術家たち」 セキ美術館 平成19年5月24日～7月1日	中川八郎《初秋の夕》
「Fashion Accidentally」 台北当代芸術館(台北MoCA) 平成19年5月26日～7月22日	森村泰昌《セルフポートレート(女優)/ヘップバーンとしての私・2》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/ビビアン・リーとしての私・3》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/リスとしての私・2》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/バグマンとしての私・2》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/シルビア・クリステルとしての私・2》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/フェイ・ダナウェイとしての私・3》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/バルドーとしての私・3》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/ライザ・ミネリとしての私・1》 森村泰昌《光るセルフポートレート(女優)/赤いマリリン》 森村泰昌《セルフポートレート(女優)/デートリッヒとしての私・1》
「輝きふたたび 石見銀山展」 島根県立古代出雲歴史博物館 平成19年7月14日～9月24日	《遊楽美人図》
「三都の女ー東京・京都・大阪における女性表現の諸相ー」 笠岡市立竹喬美術館 平成19年9月1日～10月8日 稲沢市荻須記念美術館 平成19年10月13日～11月11日 高崎市タワー美術館 平成19年11月17日～12月24日	橋本明治《莊園》 小早川清《旗亭涼宵》 小早川清《宵》 北野恒富《むすめ》 榎本千花俊《揚々戯》
「田園賛歌 近代絵画に見る自然と人間」 埼玉県立近代美術館 平成19年10月27日～12月16日 北九州市立美術館 平成20年1月2日～2月17日 ひろしま美術館 平成20年2月23日～4月6日 山梨県立美術館 平成20年4月19日～6月1日	大下藤次郎《野の道》 大下藤次郎《秋の雲》 大下藤次郎《巢鴨の牛小屋》 大下藤次郎《日暮里》 大下藤次郎《富士を望む》
「島根の近代日本画五人展」 島根県立美術館 平成20年1月2日～2月18日	西晴雲《湖南漁舟・緑陰仙居図屏風》 西晴雲《四季花木図》

## 入館者数一覧／パスポート会員数一覧

## 1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	26,819	3,391	3,619	0	7,010	6,700	891	3,207	10,798
5月	20,058	5,735	5,348	0	11,083	2,250	1,554	3,872	7,676
6月	20,539	2,673	3,063	644	6,380	4,058	2,782	4,164	11,004
7月	25,777	0	1,400	1,636	3,036	6,969	2,912	1,096	10,977
8月	40,274	3,672	4,102	0	7,774	10,738	2,439	3,463	16,640
9月	25,879	3,267	2,697	0	5,964	2,600	2,803	4,300	9,703
10月	33,587	6,126	5,785	0	11,911	3,270	3,658	10,165	17,093
11月	40,766	8,791	7,224	0	16,015	7,715	3,571	5,180	16,466
12月	26,471	5,222	4,905	761	10,888	3,949	2,174	2,314	8,437
1月	19,616	0	1,993	0	1,993	6,048	2,129	2,463	10,640
2月	18,151	158	1,442	0	1,600	3,273	3,454	1,969	8,696
3月	25,595	2,808	2,700	0	5,508	6,029	3,458	2,386	11,873
合計	323,532	41,843	44,278	3,041	89,162	63,599	31,825	44,579	140,003

## 2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアムパスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	232	550	36	887	152	977	557	3,391
5月	685	1,366	141	1,369	351	1,100	723	5,735
6月	212	473	37	626	127	682	516	2,673
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	206	1,682	103	337	364	501	479	3,672
9月	274	1,356	85	313	383	527	329	3,267
10月	565	1,399	58	662	1,880	1,035	527	6,126
11月	1,076	2,657	128	1,250	1,108	1,610	962	8,791
12月	583	1,300	111	449	741	928	1,110	5,222
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	29	14	0	0	3	47	65	158
3月	160	589	41	217	296	896	609	2,808
合計	4,022	11,386	740	6,110	5,405	8,303	5,877	41,843

	コレクション展								合計
	前売券	別納券	当日券			ミュージアムパスポート	招待券	小計	
			個人	団体・割引	無料券				
4月	232	16	597	818	165	1,199	592	3,619	7,010
5月	685	13	1,198	1,278	351	1,100	723	5,348	11,083
6月	212	0	600	662	175	877	537	3,063	5,736
7月	0	62	499	107	324	374	34	1,400	1,400
8月	206	0	1,628	411	803	555	499	4,102	7,774
9月	274	1	931	344	291	527	329	2,697	5,964
10月	565	45	885	563	2,045	1,128	554	5,785	11,911
11月	1,076	15	1,430	1,023	1,108	1,610	962	7,224	16,015
12月	583	0	973	371	781	1,073	1,124	4,905	10,127
1月	0	0	645	70	477	653	148	1,993	1,993
2月	29	194	350	67	183	415	204	1,442	1,600
3月	160	17	460	254	296	896	617	2,700	5,508
合計	4,022	363	10,196	5,968	6,999	10,407	6,323	44,278	86,121

## 3. 企画展観覧者数

	会期	日数	観覧者数
美しさへの挑戦 ヘアモード・メイクアップの300年	平成19年 2月24日～ 4月 9日	8(平成19年度)	1,269(全会期合計5,648)
森 英恵 手で創る—東京—ノゾリ島根	平成19年 4月20日～ 6月11日	48	10,530
BOX ART ～プラモデルパッケージ原画と戦後の日本文化～	平成19年 8月10日～10月 8日	53	9,243
川村記念美術館所蔵 巨匠と出会う名画展	平成19年10月19日～12月16日	51	17,835
モダンガールズあられる。昭和初期の美人画展	平成20年 2月29日～ 4月 7日	28(平成19年度)	2,966(全会期合計3,741)
合計			41,843

## 4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3,329	3,328	3,242	3,206	3,204	3,169	3,232	3,256	2,921	2,798	2,662	2,619

## 収支概要

### ■収支概要

#### (1) 支出予算

単位：千円

センター運営費	29,285
指定管理委託費	343,668
展覧会事業費	65,339
企画展示費	62,844
常設展示費	2,495
教育普及費	4,605
調査研究費	2,388
情報提供事業費	1,454
美術品保存修復事業費	2,291
開館特別事業	17,253
合 計	466,283

※2月補正額

#### (2) 収入実績

単位：千円

企画展	19,121
常設展	3,204
パスポート	7,445
目的外使用料	3,557
合 計	33,327

※図録販売収入など雑入は含まず

## 島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日  
島根県条例第51号島根県芸術文化センター条例をここに公布する。  
島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命じることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

## 島根県芸術文化センター条例

## (観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

## (観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

## (指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

## (入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

## (損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

## (秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

## (原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

## (センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

## (罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

## 附 則

## (施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

## (準備行為)

- 2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。
- 3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

## (供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

## (経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

## 附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

1 施設の基準額  
(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール		平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240
		土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
  - 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
  - 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
  - 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収す



## 島根県芸術文化センター条例

る場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。

8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。

2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。

3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。

4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合 その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。

2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

## 島根県立石見美術館管理規則

平成16年11月5日  
島根県教育委員会規則第29号

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。  
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号（第2条関係）

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計	円		円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

## 施設概要

## ■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県いわみ芸術劇場）

[所在地] 島根県益田市有明町5番15号

[設計期間] 2001年4月～2002年7月

[工事期間] 2002年11月～2005年3月

[設計] 内藤廣建築設計事務所

[構造設計] 空間工学研究所

[設備設計] 明野設備研究所

[コンサルタント]

●設計協力：江角彰宣・みずほ設計

●舞台機構：シアターワークショップ

●舞台照明：シアターワークショップ

●舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所

●サイン：矢萩喜徳郎

●共同監理：島根県益田土木建築事務所

[敷地面積] 36,564.16㎡

[建築面積] 14,068.15㎡

[延床面積] 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

[建蔽率] 38.4%（許容：60%）

[容積率] 52.6%（許容：200%）

[用途] 美術館・劇場

[規模] 地上2階 地下1階

[最高高さ] 32.24m

[構造] RC造、一部PC、S造

[設備]

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：

全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

[施工]

●建築：

大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：

新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：

新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：

中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：

栗原工業

●舞台機構：

森平舞台機構

●舞台照明：

丸茂電機

●舞台音響：

ヤマハサウンドテック

●非常用発電：

東芝

●エレベーター：

東芝エレベータ

●浄化槽：

アルファプランニングワーク

●外構：

大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：

田部、大畑建設

●アスファルト舗装：

大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業 製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）：

施工・製作＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル 製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：

ヤマギワ

## 施設概要 諸室面積一覧

## 石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

## 共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

## いわみ芸術劇場

## 大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

## 小ホール

●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

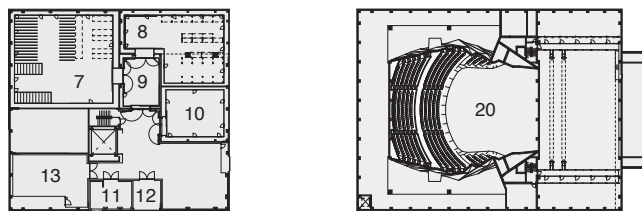
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

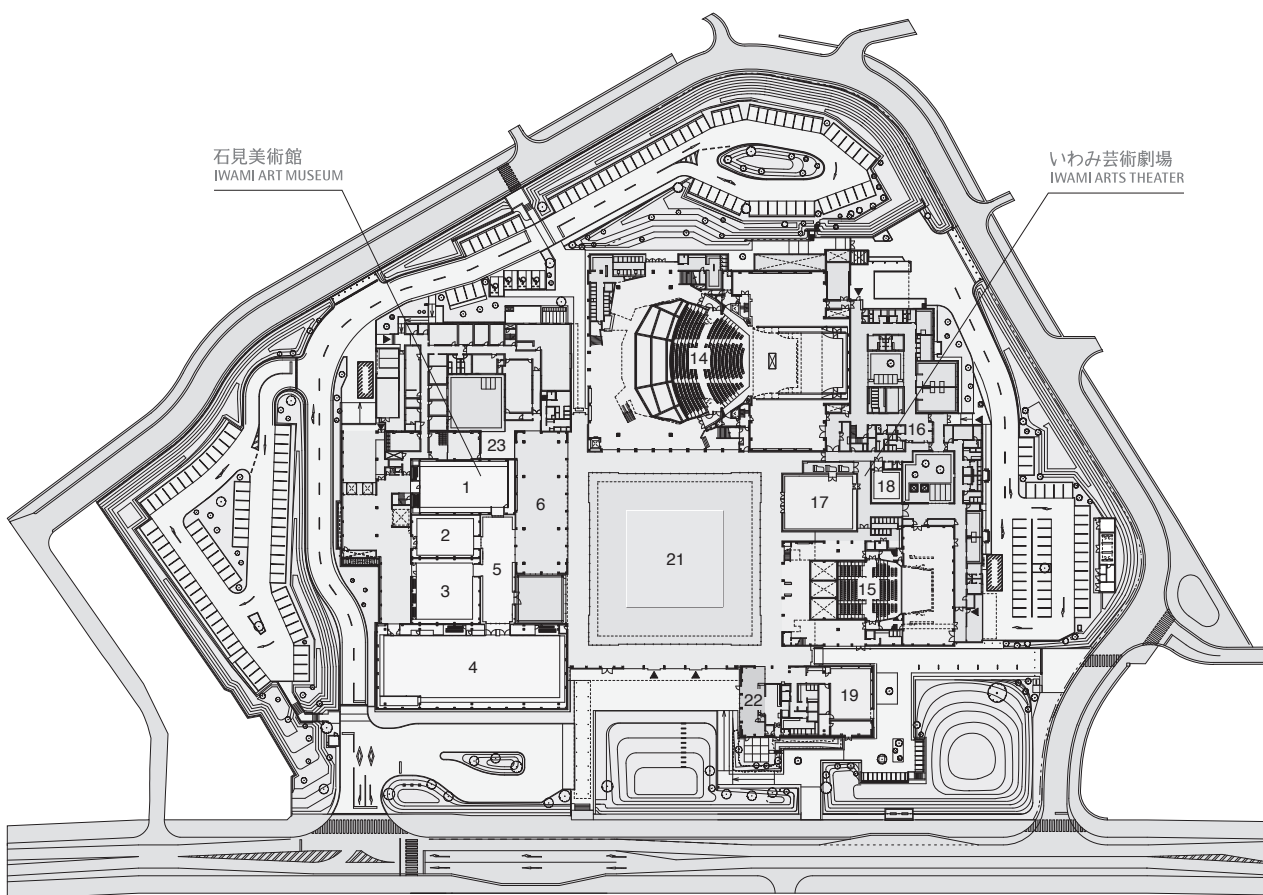
施設概要 平面図

島根県芸術文化センター  
SHIMANE ARTS CENTER

2F



1F



石見美術館

- |          |          |
|----------|----------|
| 1:展示室 A  | 8:収蔵庫 2  |
| 2:展示室 B  | 9:収蔵庫前室  |
| 3:展示室 C  | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D  | 11:修復室   |
| 5:展示前室   | 12:隔離室   |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室   |
| 7:収蔵庫 1  |          |

いわみ芸術劇場

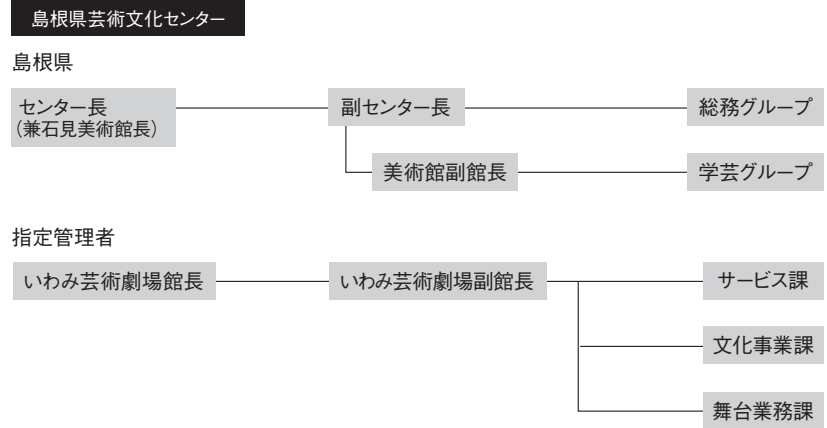
- |             |                |
|-------------|----------------|
| 14:大ホール     | 20:大ホール 2 F 客席 |
| 15:小ホール     | 21:中庭広場        |
| 16:楽屋       | 22:レストラン       |
| 17:スタジオ 1   | 23:ミュージアムショップ  |
| 18:スタジオ 2   |                |
| 19:多目的ギャラリー |                |

運営組織体制

施設名称

島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徳郎





利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：開館時間：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)  
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始  
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始  
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)  
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

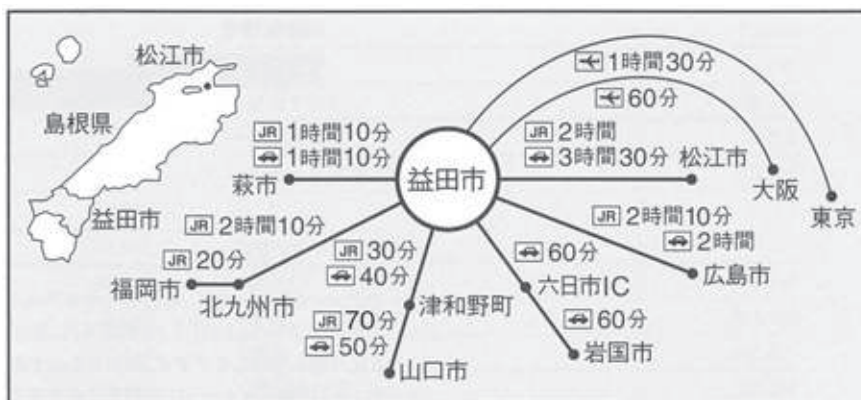
石見美術館観覧料

コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料  
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円  
 ( )内は20名以上の団体料金

- ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
- ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。



交通案内

- ・石見交通「グラントワ前」バス停車(徒歩1分)
- ・JR益田駅から約1km(徒歩15分)
- ・萩・石見空港から約6km(連絡バスJR益田駅まで約15分)
- ・浜田自動車道浜田ICから約40km(自動車約50分)

平成21年3月31日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

<http://www.grandtoit.jp> E-mail : [zaidan@grandtoit.jp](mailto:zaidan@grandtoit.jp)



島根県芸術文化センター  
SHIMANE ARTS CENTER  
石見美術館  
IWAMI ART MUSEUM